

授業科目 看護倫理学	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 後期開講	オンライン参加 <input checked="" type="checkbox"/> ・不可 (下記6,7参照)
科目責任者	福井幸子		
担当者	福井幸子、佐藤 愛、新改法子、角田ますみ (非常勤)、安高久美子 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
ねらい ヘルスケアの現場で直面する倫理的課題を把握し、倫理的意思決定能力を高めるために、倫理に関する基本的概念や理論を学び、倫理的課題への対応について探究する。また、看護研究における倫理的配慮について学ぶ。			
目標 1) 倫理的感受性を高め、ヘルスケアの現場に存在する多様な倫理的課題について説明できる。 2) 倫理的分析と意思決定の方法を学び、実践の中で遭遇する倫理的課題に対して課題解決に向けた行動について説明できる。 3) 人を対象とした医学研究や看護研究を行う際に必要な、倫理的配慮について説明できる。			
2. 授業計画・内容			
1) 授業計画			
第1-3回	生命倫理と看護倫理について 生命倫理学が誕生の背景、看護倫理の変遷	[福井幸子]	
第4回	いのちの始まりにおける倫理的問題 いのちの始まりとは、女性のリプロダクティブーライツと胎児の生存権	[佐藤 愛]	
第5-6回	人生の最終段階における倫理的問題 人生の最終段階の看護における倫理的問題	[角田ますみ]	
第7-8回	倫理的分析と倫理的意思決定① 倫理的課題とその解決(4分割法)、臨床における倫理的問題：事例検討	[新改法子、福井幸子]	
第9-10回	看護における倫理的課題とその対応 感染症を取り巻く倫理的問題と対応	[新改法子]	
第11-12回	倫理的分析と倫理的意思決定② 臨床における倫理的問題(がん看護)	[安高久美子]	
第13-15回	倫理的問題に対応する看護管理者の役割 倫理的問題に対応する看護管理者の役割 看護臨床研究における倫理的配慮 看護研究に関連した研究の倫理指針と歴史的背景	[福井幸子]	
2) 授業内容 配布資料を用いた講義と、事例分析の演習			
3. 教科書、参考書			
必要時、お知らせします。			
4. 成績評価方法			
①課題プレゼンテーション、ディスカッション(30%) ②レポート(70%)			
5. 受講要件			
なし			
6. 社会人学生に対する配慮			
土曜日開講、夜間開講を予定しています。講義の日時およびオンライン授業等は相談に応じます。			
7. その他			
本科目は、一部オンライン講義を含みますが、基本的に対面による授業とします。オンラインおよびオンデマンドによる授業を希望する場合は事前に教員に相談してください。			